



2023年8月28日

各 位

会 社 名 サ ス メ ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 太 郎
(コード番号：4263 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 小 原 隆 幸
(TEL. 03-6366-7780)

(訂正・数値データ訂正)「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の訂正に関するお知らせ

当社は、2023年8月10日に開示いたしました「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」について訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせします。また、数値データ(XBRLデータ)にも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の公表後、記載内容の追加及び修正が必要であることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

【訂正箇所】

2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結) 添付資料2ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(訂正前)

こうした事業活動の結果、当事業年度における業績は、事業収益 530,654 千円(前事業年度比 67.5%増加)、営業損失 48,316 千円(前事業年度は 229,152 千円の損失)、経常損失 44,318 千円(前事業年度は 217,444 千円の損失)、当期純損失 50,749 千円(前事業年度は 233,483 千円の損失)となりました。

(訂正後)

こうした事業活動の結果、当事業年度における業績は、事業収益 530,654 千円(前事業年度比 67.5%増加)、営業損失 48,316 千円(前事業年度は 229,152 千円の損失)、経常損失 44,318 千円(前事業年度は 217,444 千円の損失)、当期純損失 50,749 千円(前事業年度は 233,483 千円の損失)となりました。

なお、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)に採択された共同研究の分担金の確定などによる「助成金等収入」3,065 千円、当社役員による当社事業に関わる講演及び執筆について「講演料等収入」1,347 千円を営業外収益に計上しております。

また、当社の全社資産について将来の回収可能性を検討した結果、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ると判断し、減損損失を認識しております。減損損失の金額の内訳は工具器具備品で 5,426 千円となります。

3. 財務諸表及び主な注記

(2) 損益計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
事業収益	316,873	530,654
事業費用		
事業原価	10,374	7,988
研究開発費	226,369	176,311
販売費及び一般管理費	309,282	394,671
事業費用合計	546,026	578,971
営業損失(△)	△229,152	△48,316
営業外収益		
講演料等収入	617	1,347
受取利息	2	2
助成金収入	52,714	3,065
その他	1,604	5
営業外収益合計	54,937	4,421
営業外費用		
株式交付費	24,303	407
上場関連費用	18,910	-
その他	15	15
営業外費用合計	43,229	422
経常損失(△)	△217,444	△44,318
特別利益		
新株予約権戻入益	-	634
特別利益合計	-	634
特別損失		
減損損失	15,719	5,426
固定資産除却損	0	21
投資有価証券評価損	-	406
特別損失合計	15,719	5,854
税引前当期純損失(△)	△233,163	△49,539
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等調整額	△890	-
法人税等合計	319	1,210
当期純損失(△)	△233,483	△50,749

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
事業収益	316,873	530,654
事業費用		
事業原価	10,374	7,988
研究開発費	226,369	176,311
販売費及び一般管理費	309,282	394,671
事業費用合計	546,026	578,971
営業損失 (△)	△229,152	△48,316
営業外収益		
講演料等収入	617	1,347
受取利息	2	2
助成金等収入	53,214	3,065
その他	1,104	5
営業外収益合計	54,937	4,421
営業外費用		
株式交付費	24,303	407
上場関連費用	18,910	-
その他	15	15
営業外費用合計	43,229	422
経常損失 (△)	△217,444	△44,318
特別利益		
新株予約権戻入益	-	634
特別利益合計	-	634
特別損失		
減損損失	15,719	5,426
固定資産除却損	0	21
投資有価証券評価損	-	406
特別損失合計	15,719	5,854
税引前当期純損失 (△)	△233,163	△49,539
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等調整額	△890	-
法人税等合計	319	1,210
当期純損失 (△)	△233,483	△50,749

3. 財務諸表及び主な注記

(5) 財務諸表に関する注意事項

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

(訂正前)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「講演料等収入」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より「講演料等収入」と独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた2,221千円は、「講演料等収入」617千円、「その他」1,604千円として組替えを行っております。

(訂正後)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「講演料等収入」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より「講演料等収入」と独立掲記しております。また、前事業年度において「その他」に含めて表示しておりました補助金収入に関して、一覽性向上の観点から「助成金収入」に合算して表示することがより適切と判断したことから「助成金等収入」として組み替えております。なお、前事業年度の「その他」に含まれていた補助金収入は500千円であります。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた2,221千円は、「講演料等収入」617千円、「補助金収入」500千円、「その他」1,104千円として組み替え、「助成金収入」52,714千円と「補助金収入」500千円は、「助成金等収入」53,214千円として組み替えております。

以 上